

事務事業事後評価表

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	文化財保護事業		所管課【2】	文化課	
			評価者(担当者)	末永 崇	
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③人をはぐくむまちづくり			
	主要施策(節)	(4)文化・芸術の振興			
	施策区分	(1)歴史・文化施設の充実			
	(市民意識調査結果)	<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input checked="" type="checkbox"/> 【D】維持領域			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 文化財保護法、玉名市文化財保護条例 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし				
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的的事业 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input checked="" type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務				
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【			】	款 10 項 5 目 4 細目 1

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	本市には、多くの文化財が残されているが、十分な保存環境が整っておらず公開も一部に限られており、将来に向けて適切な保存整備や、活用方針を示す必要がある。
対象(誰、何に対して) 【9】	文化財、市民、他市町村民
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	市内に残された多くの優れた文化財の把握と価値付けのために、文化財に関する調査を進め、適切な文化財指定・登録を推進していく。また、後世に伝えるため文化財の保存整備を図り、文化財を通して郷土の歴史を学習する場を提供するなど、活用と公開に努める。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【
事務事業の具体的内容 【14】	・指定文化財を適切に保存管理するため、清掃・除草・見廻り等を実施する。また、保存環境が適切でない文化財の整備に取り組むため、公有化を進める。 ・未指定の文化財について、その価値付けを行い指定文化財として保存できるよう、文化財保護審議会と連携しながら調査を進める。 ・価値の高い国指定文化財などを、保存に留意しながら積極的に一般公開し、学習や観光の機会を提供する。
	事務事業を構成する細事業【15】 ① 文化財保存管理業務 ② 文化財周辺整備事業 ③ 文化財公開業務 ④ 文化財保護審議会業務 ⑤ 文化財指定業務

《事務事業実施に係るコスト》

			H24年度決算	H25年度決算	H26年度決算	H27年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費(千円)	国庫支出金	80 %	330	120	120	120	
		県支出金	%					
		起債	%					
		受益者負担						
		その他						
		一般財源		13,005	8,445	6,699	14,618	
	【16】 小 計		13,335	8,565	6,819	14,738	0	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)		0	0	0	0		
	職人 員 の 費	職員人工数		1.24	1.95	2.10	2.10	
		職員の年間平均給与額(千円)		5,610	5,424	5,424	5,424	
【17】 小 計			6,956	10,577	11,390	11,390		
合 計			20,291	19,142	18,209	26,128		

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H24実績	H25実績	H26実績	H27計画
① 文化財保存管理業務	地元等に委託し除草、清掃、見廻り等の管理を行う。	業務委託団体数	団体	15	15	15	15
② 文化財周辺整備事業	説明板、誘導標識を設置する。	設置箇所数	箇所	0	2	2	0
③ 文化財公開業務	国指定文化財等を一般に公開する。	一般公開日数	日	3	3	3	3
④ 文化財保護審議会業務	会議及び現地調査を開催する。	会議等開催数	回	2	4	2	3
⑤ 文化財指定業務	指定に関する調査を行い保護審議会の諮問を経て指定する。	新規指定・登録件数	件	1	0	0	2

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H24目標	H25目標	H26目標	H27目標
			H24実績	H25実績	H26実績	
1 県内装飾古墳県下一斉公開時見学者数	県下一斉で公開対象となった装飾古墳見学者の人数	人	500	500	500	500
			400	659	518	
2 指定・登録文化財件数	国県市指定・登録文化財の累計数	件	151	151	151	152
			151	151	151	

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	管理業務を地元行政区等に委託しているが、委託業務を止めた場合適切な管理ができない状況が予想される。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) B	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	適切に文化財保護を行うことで、観光資源として有効な活用が見込まれる。周辺整備を充実させるなど、積極的に文化資源の活用を図る。
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	文化財公開業務として、装飾古墳一斉公開事業の対象を拡大し石貫ナギノ横穴群、石貫穴観音横穴についても実施していく。また、文化財保護審議会に諮りながら新規指定や必要な指定範囲の拡充を進める。これに伴い保存管理についても範囲の拡大と充実を図るとともに、公開活用のための案内板や説明板の設置など、周辺整備を図る。
昨年からの見直し・改善状況【32】	特になし

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	文化財保護法に基づいて自治体が行う重要な事務である。指定文化財の適切な管理と共に、未指定の文化財についても価値づけを行う。さらに一般に公開し、学習や観光の機会を提供することも必要である。	評価責任者 中山富雄
------------------	---	---------------